



## まなびい 掲示板

### ▶生涯学習推進大会 & 子どもの未来を考える町民のつどい

**と き** 2月23日(日) 13時～15時30分

**と ころ** 総合センター2階（大集会室）

**内 容** ●表彰

教育表彰、三浦梧楼賞、読書感想文コンクール、公民館図書多読賞、生涯学習標語・町民俳句コンテスト

●実践発表

吉ヶ沢小学校PTA活動紹介

●特別講演とミュージカルダンスメドレー

出演 NPO法人 劇団「ゆう」

曲目 サウンドオブミュージック、美女と野獣、ピーターパンほか

※閉会後には町の特産品（くずまきワイン・乳製品）が当たる抽選会があります。

☎教育委員会 ☎66-2111 内線275



昨年の大会・つどいの様子

## 町の文化振興へ決意を新たに

### 町文化協会・新春交流会

町文化協会（高澤安男会長・加盟22団体）の新春交流会は1月18日、グリーンテージで開かれ、会員ら約90人が参加し、町の文化振興へ決意を新たにしました。

高澤会長は「楽しく活動することが文化と町の活性化につながる。さらに活動を活発にいきましょう」とあいさつ。觸澤義美副町長が「文化活動を通じて地域コミュニティの広がりを生み出していくことが重要。町の活性化のため皆さまのご協力をいただきたい」と祝辞を述べました。

続いて表彰が行われ、個人功労賞は中山ハツノさん（77歳・小屋瀬さんさ踊り保存会）、団体功労賞は葛巻アートクラブ（遠藤金治代表）、芸術文化賞は舞スマイルダンス教室（越田名緒実代表）が受賞されました。

交流会では、参加者の俳句披露や舞台発表などが行われ、団体相互の交流を深めました。



1表彰を受けた右から遠藤金治代表、中山ハツノさん、越田名緒実代表 2俳句を披露する高澤会長 3小屋瀬さんさ踊り保存会の舞台発表



1鹿部町のたらこづくり体験で地元のお母さん方と一緒に 2のこぎりを使って木の伐採作業を体験 3鹿部町の間欠泉を見学 4天然たらこづくりに挑戦 5足湯を楽しむ参加者 6ケツすべりを楽しむ子どもたち

1月11日から13日までの3日間、五日市メッツスポーツ少年団（恵津森哲夫監督）の2、6年生16人と保護者など10人は、北海道七飯町の大沼ふるさと自然学校などで開催された「子ども農山漁村交流プロジェクトin北海道大沼」に参加しました。

初日は開校式後、馬を使って山から丸太を運び出す「ホースロギング（馬搬）」による木の伐採作業を体験。

二日目は、鹿部町でチカ釣り体験をした後、地元のお母さん方と一緒に、天然たらこ作りを体験。生のスケソウダラに触るのは初めての体験で、子どもたちは恐る恐る包丁を使ってさばっていました。

三日目は、大沼ふるさと自然学校近くの日暮山に登り、頂上からケツ滑りをしながら下山しました。その日の朝方の気温は氷点下23℃にも冷え込みましたが、子どもたちは連日の疲れも感じさせず、元気よくケツ滑りを楽しみました。

滞在中は天候にも恵まれ、北海道の恵みたっぷりのイカめしや鍋、ホタテご飯などの食事も堪能し、参加者は北海道の大自然を満喫しました。



## 北海道の大自然を満喫した3日間

### 子ども農山漁村交流プロジェクト

## 企画展 昭和30年前後の江州の人々

☎教育委員会 ☎66-2111 内線275

江川酪農工場と中野清見氏を中心とした昭和30年前後の江州は、「新しい村づくり」として全国に知られ、活気にあふれていました。当時の人々の様子を思い出し、新たに発見していただくため、町内外で入手した写真や資料を展示します。特に当時の江州を撮影した写真は珍しいものです。

歴史を知ることを通して、これからの葛巻を考えるきっかけにはいかがですか。



昭和31年当時の小苗代青年会の皆さん

**企画展**

**と き** 2月12日(水)～23日(日) 9時～19時  
**と ころ** 公民館ロビー

**特別企画**

「戦後の江州と中野清見」を語る会  
講師 町教育委員会 倉片 啓氏  
**と き** 2月16日(日) 10時～  
**と ころ** 総合センター1階（研修室）

## 公民館 図書室から

## 本の紹介

★開館時間：午前8時30分～午後7時  
★休館日：年末年始



『あらしのよるに』 木村裕一 作

オオカミのガブとヤギのメイが、あらしのよるに真つ暗な小屋の中で出会う。2匹はお互い誰だかわからぬまま交流を深めるが、夜通し語り合い、心を通わせる。しかし、翌日会うことになった2匹は、自分たちが「食うものと食われるもの」である事を知る。天敵同士の2匹の友情か弱肉強食か…。3百万部ベストセラーシリーズ全7巻の第1巻です。



『心の聖地』 スポーツ戦いの記憶

共同通信社 作  
トップアスリートたちが心に秘める「聖地」をキーワードに表舞台の歓喜だけではなく、その裏に潜む苦悩について、綿密な取材を元に描き出した1冊。封印したい記憶、頂点を極めた後の挫折、勝者の影のナンバー2の葛藤、政治に翻弄されても貫いた信念など、スポーツと時代をめぐる感動の人間ドラマ45編です。



『命をつないだ道』 東北・国道45号線をゆく

稲泉 連作  
仙台市から青森市まで東日本大震災の被災地を貫く国道45号線。震災直後、大量のがれきや土砂にふさがれた大動脈は、強い意志によって切り開かれ、多くの救援物資や救助隊がその先へと向かった。危険を顧みず「命の道」を守り続けた人々の熱き思いが胸を打つ、感動の人間ドラマです。